

2015年度 日本文化人類学会
第4回理事会 議事録(案)

日時：2015年7月5日(日) 14時～18時

場所：上智大学 四谷キャンパス 紀尾井坂ビル5階 第1会議室

<出席者> 関根、赤堀、池田、上杉、太田、亀井、栗田、桑山、慶田、田中、名和、真島、松村、山本
<委任状提出> 石田、岡田、春日、岸上、窪田、湖中、瀬川、松田、和崎

[承認事項]

1. 2015年度第3回理事会議事録(案)
 - ・一部修正の上、理事会メーリングリストにより配信し、承認を得ることとした。
2. 新入会員の承認
 - ・新入会員(7名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

[報告事項]

1. 会長報告
 - ・第4回三島海雲学術賞授賞式に出席したこと、今後も積極的に学会から候補者を推薦していくよう次期理事会へ申し送る予定であることを報告。
 - ・文部科学省をはじめとして、理系重視の流れは今後さらに強まると思われるため、本学会としても対応を真剣に考えていく必要があることを次期理事会へ申し送る予定であることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・総会・評議員会の議事録の承認手続きを進めていることを報告。
3. 会計理事報告
 - ・後刻出席予定の赤堀理事に代わり松村理事より、各地区研究懇談会及び各課題研究懇談会に対し今年度予算の送金を完了したことが報告された。
4. 総務理事報告
 - ・次年度公開シンポジウムに関し、平成28年度澁澤民族学振興会民族学振興プロジェクト助成の申請書及び平成28年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)(研究成果公開発表B)の計画調書の原案作成を太田理事に依頼したことを報告。
 - ・今年度の人類学関連学会協議会合同シンポジウム登壇者について報告。
5. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき4件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・7月に開催されるJ-STAGE説明会への出席を調整中であること、CiNiiからJ-STAGEへの移行の申込み受け付けが開始され次第、申込みを行う予定であることを報告。
6. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：80巻2号の進捗状況を報告。また、投稿の呼びかけを各理事に依頼した。
 - ・JRCA編集委員会：Vol.16の進捗状況を報告。
 - ・法人化検討委員会：9月に委員会を開催予定であること、事務局員の雇用形態についても検討を行う予定であることを報告。
 - ・国際化・グローバル化対応委員会：5月30日にラウンドテーブル2015を開催し無事終了したこと、学会誌80巻2号に掲載予定であることを報告。
 - ・学会歴史委員会：神奈川大学国際常民文化研究機構より2015年3月に刊行された『「民族学研究講座」講義録』国際常民文化研究叢書第11巻について、常民文化研究所の送料負担で委員全員に送付される予定であることを報告。
 - ・研究大会運営検討委員会：欠席の岸上理事に代わり松村理事より、第49回研究大会の参加者数等が報告された。また、各座長に確認したところ、発表内容と事前登録された発表要旨とが異なる研究発表はなかったことが報告された。
 - ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。

- ・文化人類学教育委員会：欠席の春日理事に代わり松村理事より、資料に基づき若手支援WG提案の大学院教育に関するアンケート結果が報告された。国外での博士号取得者が含まれていない等の点を踏まえ、会員に対する全般的な調査も必要であること、今後次のステップを検討する必要があることを確認。
- ・次世代育成セミナー実施運営委員会：欠席の春日理事に代わり松村理事より、今年度次世代育成セミナーの応募登録期間案内について、総務会で確認の上、JASCA-INFOで配信したことが報告された。また、例年と異なる点として、東日本会場は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所文化/社会人類学研究セミナーとの共催であるため、東日本会場の発表者には旅費が支給される可能性があることが報告された。運営委員が査読を行うことが妥当かとの意見が出され、今後引き続き検討することとした。

〔審議事項〕

1. 各種委員会の構成について
 - ・松村理事より、各委員会のメンバー変更等を反映した各種委員会構成について説明があり、承認された。事業縮小の必要性があるのであれば役割を終えた委員会を廃止していくべきではないかとの意見が出された。
2. 第49回研究大会収支について
 - ・後刻出席予定の赤堀理事に代わり松村理事より、第49回研究大会収支暫定報告について説明があり、赤字分については、以前理事会で承認されたとおり、学会の本会計より補填することが承認された。
3. 第2回国際シンポジウムについて
 - ・桑山理事より、第2回国際シンポジウムの計画書について説明があり、意見交換の結果、日程について再調整を行うこととした。
4. 第27回評議員選挙管理委員の委嘱について
 - ・松村理事より、第27回評議員選挙管理委員の人選について説明があり、理事委員4名が選出された。また、理事外委員6名の選出及び委嘱については、総務会に一任することとした。
5. 朝日賞の学会推薦について
 - ・松村理事より、2015年度朝日賞の候補者推薦依頼を受けたことが報告され、審議の結果、2015年度朝日賞の候補者推薦を実施することが承認された。候補者については総務会原案が承認された。
6. 課題別研究懇談会の継続・新規募集について
 - ・慶田理事より、日本文化人類学会「課題研究懇談会」設置規則の改訂案が提出され、審議の結果、承認された。改訂部分は下表の通り。適用は2016年4月1日からとすることとした。

改訂前	改訂後
(活動期間) 第6条 設置を認可された課題研究懇談会は、学会内組織として4年間活動することができる。 2 4年間の活動期間の終了後、さらに1年間の活動継続を希望する場合には、継続申請書に登録メンバー20名以上の名簿を添えて、最終年度の1月末日までに、会長宛に提出し、継続の承認を受けなければならない。会長は課題研究懇談会担当委員会に継続申請書の審査を付託し、その発議にもとづき、理事会の議を経て、活動継続を承認する。継続申請は2回を限度とする。申請に当たっては、所定の継続申請書および登録メンバー名簿を提出すること。 3 継続申請書の書式は別に定める。	(活動期間) 第6条 設置を認可された課題研究懇談会は、学会内組織として4年間活動することができる。 2 4年間の活動期間の終了後、さらに1年間の活動継続を希望する場合には、継続申請書に登録メンバーの名簿を添えて、最終年度の定められた期日までに、会長宛に提出し、継続の承認を受けなければならない。会長は課題研究懇談会担当委員会に継続申請書の審査を付託し、その発議にもとづき、理事会の議を経て、活動継続を承認する。継続申請は2回を限度とする。 <u>(以下削除)</u> 3 継続申請書の書式は別に定める。

※下線部分を変更

- ・慶田理事より、課題研究懇談会の継続課題と新規課題募集に関する提案がなされ、審議の結果、新規募集は各期に3件ずつ行うこととし、新規課題設置の可否は2月中に応募者に通知することとした。

学会 HP への掲載内容及び JASCA-INFO への配信文については、委員長が原案作成の上、総務会へ一任することとした。

- ・慶田理事より、課題研究懇談会「応答の人類学」より新規メンバー追加申請書が提出されたことについて説明があり、審議の結果、新規メンバーの追加が承認された。また、今後、各年度末に提出される活動報告書にメンバー表を添付することとし、次年度以降の新規メンバーについては、その際に併せて承認する手順とすることが承認された。また、原則として年度途中での新メンバーの追加は認めないことを確認した。

7. 会費体系の見直しについて

- ・赤堀理事より、会費改定の必要性について説明があり、現会員構成をベースにした試算に基づき会費改定素案が提示された。会費改定の主な必要性については以下の通り。

① 経常収支差額をみると、過去 10 年のうち 7 年が赤字であること。

② 1983 年以来、30 年以上会費改訂がなされておらず、2000 年度の総会で会費改訂が検討されながら見送られたこと。

③ 将来計画基金は、学会運営上単年度の経常収入程度の規模であることが望ましいが、過去 10 年は経常収入を大きく下回っており、現時点では経常収入の三分の一以下となっていること。

④ 今後退職する会員が増加することが見込まれ、同時に博士後期課程修了・退学後に常勤職を得ていない会員は相当数に上っており、これに対応する必要があること。

審議の結果、事業の吟味及び整理が必要であることを確認した。また、学会和文誌の刊行を現行の年 4 冊から 3 冊に減らしてはどうかとの提案があり、『文化人類学』と“JRCA”で今後の発行回数について、特集の位置付けやあり方を含め、検討していくこととした。

- ・今回の審議結果を踏まえ、素案をブラッシュアップして次回理事会で再提示することとした。また、会費値上げを行わなければ、2018 年度中に学会運営が立ち行かなくなることを認識した上で、会費値上げを喫緊の課題として引き続き検討することを確認した。

8. 第 12 回国際生理人類学会議の協賛依頼について

- ・松村理事より、日本生理人類学会より第 12 回国際生理人類学会議の協賛依頼が届いたことが報告され、審議の結果、本学会の協賛が承認された。

9. その他

- ・次世代育成セミナーの応募登録期間案内についての JASCA-INFO による配信が事後承認された。
- ・平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）国際情報発信強化の計画に基づき、「2015 年度次世代育成 国際研究集会発表助成」の募集を実施したこと、担当委員による審査を行い、内定通知を送付したことが報告され、承認された。また、今後も同助成の募集を行う場合には、担当委員による審査の結果について理事会で審議の上最終決定とするという手順を踏むことが確認された。なお、審査結果については学会 HP へ掲載することとした。
- ・第 5 回理事会の日程は 2015 年 11 月 14 日（土）14：00～ @上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603。

以上